



風っ子・環境キャンペーン



水質調査のために、群馬県の代表的な湧水のひとつである「一の字池」を訪れた生品小学校こどもエコクラブのメンバーとサポートーのみなさん

児童たちは、池の水を容器に入れ、早速調査開始。水の汚れがわかるCODパックテストをした結果、一の字池の水は、5段階の中で真ん中よりも「きれい」寄り。地図上には、このことを示すシールが貼られました。

わかるマップにすることで、自分たちの身近な水環境を知ることを目的にしています。

メンバーが調べたのは、近くにある一の字池。付近には木が生い茂つていてうつそうとしていますが、近くで見ると、予想以上に水が澄んでいて池の底までわかるほど。魚が優雅に泳ぐ姿も見られま

す。
6月8日には、恒例の水質調査をしました。これは、全国水環境マップ実行委員会が毎年6月初旬、全国的に行っている「身近な水環境の全国一斉調査」の一環。水環境を調べてその結果をひと目で



キットを使って汚れ具合を調べるメンバー

生品小学校土曜スクール(環境)

西村豊代表サポーター 7人
連絡先:太田市立生品小学校
太田市新田村田町1365
TEL:0276-57-1054
<http://WWW.cta.ed.jp/ikushiba>

エコバッグ作りや自然調査など、工夫を凝らしたプログラムで、さまざまなか角度から楽しく環境を学んでいます。



身近にできる工芸活動

ゴミの分別をしよう!

ゴミの分別をしよう!
ゴミを捨てる前に、これは何かな?と考えてみましょう。紙、缶、ビン、段ボール、プラスチック(地域によって異なる)、牛乳パック…。これら資源を分けて出せば、燃やすゴミはとても減ります。平成29年度の群馬県民1人1日当たりのごみ排出量は全国ワースト8位(986g)。一方、隣の長野県はなんと全国トップ1位(817g)です。分別を手伝えば、お家の方も喜びます。

群馬県環境アドバイザー 梅山はやか

太田市

身近な水を調査 環境守るきっかけに

生品小学校土曜スクール（環境）

太田市立生品小学校（新田村田町）では環境に興味のある児童が集まり、2年前にこ

どもエコクラブを立ち上げました。今年は、7人のメンバーが年間5回の活動をしていま

す。
6月8日には、恒例の水質調査をしました。これは、全

風つ子・環境キャンペーンを応援します